

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	下水道関係団体運営事務			事業コード	0817
担当課等	所属名	上下水道局 総務経営課	担当係名		
	課長名	内宮康廣上下水道局 総務経営課	担当者名	浅沼秀一	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	健全な水環境・良好な水循環の創出	コード 6
	基本事業	汚水処理の充実	コード 1	関連予算 費目名	下水道事業会計 1款 1項 1目 資本的支出建設事務費(050-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 39年度～)		
事務事業の概要	下水道部職員の資質向上及び有益情報取得のため、研修・会議等に下水道部職員を参加させる。					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>昭和39年、下水道整備の急速な普及と健全な発展を目的として(社)日本下水道協会が設立され、その支部として「東北地方支部」・「岩手県支部」が設置された。岩手県支部は盛岡市上下水道局(平成22年度水道部・下水道部統合)に事務局を置き、支部長は盛岡市長が務めている。昭和47年には、技術援助を主たる業務として日本下水道事業団の前身が設立された。日本下水道事業団は、日本下水道事業団法に基づき地方公共団体の運営補助金を受けて、下水道事業の補助や研修、試験研修を実施している。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
有意義な事業の実施						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>国における特殊法人の見直し等から、日本下水道協会の見直しが行われるが、地方公共団体にとっては、有意義な事業を実施している団体として、公益法人として存続が認められる状況と思われる。</p>						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①盛岡市上下水道局職員 ②日本下水道協会岩手県支部 ③日本下水道協会(本部・東北地方支部) ④日本下水道事業団	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市上下水道局職員(下水道事業会計)	単位	人
				B. 日本下水道協会岩手県支部正会員数(団体数)	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①事務局を所管し、総会事務・事業(要望活動・研修等)執行・経理決算を行う。 ②各団体の事業執行等を通じ、下水道部職員の資質向上に役立てる。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①事務局を所管し、総会事務・事業(要望活動・研修等)執行・経理決算を行う。 ②各団体の事業執行等を通じ、上下水道局職員の資質向上に役立てる。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 日本下水道協会岩手県支部事業数	単位	回
				B. 日本下水道事業団研修参加者数	単位	人
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・調査研究・要望活動・職員研修等の各種事業を実施することにより、下水道事業の普及と健全な発達を目指す。 ・県内各市町村や国県との連絡協調を図り、均衡の取れた発展を目指す。 ・下水道担当職員に対し、研修や情報交換の機会を提供し、資質向上を目指す。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 日本下水道協会岩手県支部事業参加者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	人
				B. 事業参加者の満足度の向上 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	衛生的な水環境が確保される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市上下水道局職員(下水道事業会計)	人	117	117	80	80	80	80	24年度 80
対象 指標B	日本下水道協会岩手県支部正会員数(団体数)	人	31	31	31	31	31	31	24年度 31
対象 指標C									年度
活動 指標A	日本下水道協会岩手県支部事業数	回	6	6	7	7	7	7	24年度 7
活動 指標B	日本下水道事業団研修参加者数	人	3	3	3	3	3	3	24年度 3
活動 指標C									年度
成果 指標A	日本下水道協会岩手県支部事業参加者数	人	184	151	200	148	150	150	24年度 150
成果 指標B	事業参加者の満足度の向上	%	90	90	90	90	90	90	24年度 90
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,935	1,452	3,438	1,789	2,027	2,511	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	1,935	1,452	3,438	1,789	2,027	2,511	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,935	1,452	3,438	1,789	2,027	2,511	*****
	延べ業務時間数	時間	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,335	5,852	7,838	6,189	6,427	6,911	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 結びついている	理由: 下水道事業において必要な事業であり、会員へアンケート調査を行い平成23年度以降の事業内容等について見直しを行った。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 参加者の要望にかなう事業を実施する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 下水道事業の普及、健全な発達及び資質向上に影響がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 定期的な事業の中でも随時必要経費の見直しを図る。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 市が事務局を担当しており、他業務と並行して行っているため。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 構成団体の協議により決定している。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 構成団体の協議により決定している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  平成22年度に会員に対しアンケート調査を行った。結果を受けて平成23年度以降の運営、事業実施等の見直しを行った。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  平成22年度に会員に対しアンケート調査を行った。結果を受けて平成23年度以降の運営、事業実施等の見直しを行ったが、見直し後の事業を実施していく中で会員の要望等に応じて柔軟に対応する。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性           ● 妥当                   ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性           ● 妥当                   ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性           ● 妥当                   ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性           ● 妥当                   ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>公益法人制度改革に対応するため、構成会員団体の協力を得て、平成23年度以降の事業等の大幅は見直しを行い、今後の組織の方向性を明確にした。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>規則改正による役員定数の削減と会費の減額、公益事業助成の導入に伴う事業内容の精査、繰越金による研修助成事業(H24から)の実施</p>													